

令和4年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立文化会館

指定管理者名：公益財団法人 河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	S
危機管理	労働諸法を遵守しているか。	S	S
	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	B	B
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	B	B
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	45,000,000	41,658,840	3,341,160	37,976,820	
	自主事業収入	37,367,000	35,848,247	1,518,753	32,705,395	
	物品販売収入	303,000	457,800	-154,800	538,903	
	手数料収入	1,528,000	2,155,549	-627,549	1,499,415	
	指定管理料	207,155,000	210,304,394	-3,149,394	201,571,549	
	その他収入	3,751,000	13,030,133	-9,279,133	10,503,017	
	収入総額	295,104,000	303,454,963	-8,350,963	284,795,099	
支出	人件費	97,769,000	94,308,597	3,460,403	82,586,417	
	事務費	1,583,000	1,959,959	-376,959	975,803	
	管理費	104,764,000	109,454,682	-4,690,682	93,771,274	
	自主事業経費	84,181,000	85,652,262	-1,471,262	103,333,645	
	光熱水費	21,189,000	32,209,320	-11,020,320	25,368,881	
	リース料	298,000	246,840	51,160	288,288	
	その他	810,000	80,000	730,000	3,019,733	
	支出総額	310,594,000	323,911,660	-13,317,660	309,344,041	
収支差額	-15,490,000	-20,456,697	4,966,697	-24,548,942		

3. 総合評価

自己評価
<p>文化振興事業</p> <p>・開館30周年を記念する年でした。新型コロナウイルス変異株による度重なる感染拡大の影響を受けながらも、少しずつ日常を取り戻すべく周年記念事業を筆頭に、多種多様な芸術文化に出会う機会を提供する芸術文化普及型事業など様々な事業の実施に取り組みました。</p> <p>・「ラブリール・ホール」の30周年をみんなで楽しく祝うをコンセプトに、4月23日に「ラブリール・ホール開館30周年記念式典」を実施しました。ラブリール・ホール・ミュージカルスクールの元氣いっばいの歌とダンス、そして河内長野吹奏楽団ブルーウインズの迫力ある演奏をお届けしました。その他、トークセッションとしまして、サキタハチメ氏とブルーウインズ団長の浜田俊毅氏、柴理梨副理事長に「ラブリール・ホールの未来」についてお話をいただきました。また、劇場ならではの特色を活かし、オペラの世界やミュージカルステージを展示し、自由に写真が撮れるスポットとして来場した皆様に記念写真の撮影を楽しんでいただき大変ご好評をいただきました。</p> <p>・ラブリール・ホール・オリジナル・ミュージカル「オズの魔法使い」を、感染拡大防止策に努めながら練習を継続し、8月7日に無事2回公演を実施することができました。また開館30周年を記念して、元関西テレビアナウンサーの山本浩之さんに「オズ大王」役でご出演いただきました。子ども達は、舞台上での規制が残る中、精一杯のパフォーマンスを行いました。ミュージカルスクール生の頑張りに、894名の入場者からも高い評価をいただきました。</p> <p>・河内長野から全国に向けた良質な芸術作品の創造発信を行う「奥河内音絵巻」シリーズ第8弾は、河内長野出身の気鋭の写真家・真貝真知子氏が描くローレフトのリアルファンタジーな世界とサキタハチメ氏の幽玄でドラマティックな音楽が融合。また、コミカルな自転車を使用した「クロワッサンサーカス」メンバーによるパフォーマンスに、市民メンバーも加わり総勢約70名の出演者による、誰もが楽しめるエンターテインメントショーを9月11日に2回公演で実施しました。本市の観光スポット「関西サイクルスポーツセンター」にも全面的にご協力をいただきました。</p> <p>・創造発信型事業として制作している「ミュージカル」事業や「奥河内音絵巻」事業は、その内容が高く評価され、文化庁をはじめ様々な団体から合計1,000万円を超える助成金を獲得することができました。</p> <p>・多くの家族連れの方にご好評のラブリール・ハロウィーン事業では、新型コロナウイルスの影響により開催できていなかった「仮装！？ファミリーコンサート」を、約3年ぶりに10月10日に実施することができました。当日は出演者やスタッフも仮装してお客様をお出迎えし、コンサート以外にも「かぼちゃのランタン作り」「ねんどでハロウィーンのキャラクターを作ろう！」など、ご来場いただいたお客様には大変楽しんでいただきました。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>・本年度も、経年劣化による多数の不具合が発生したが、適切に修繕を行い、ご利用のお客様の利便性向上と安全確保に努めることができました。</p> <p>・年度末3か月間の市エスコ事業の実施期間にあわせ、来館者により快適にご利用いただくために財団独自による「館内カーペット・壁紙更新」や「市民プラザソファ他修繕」などを実施しました。</p> <p>・本年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に対応するため、情勢をみながら状況に応じた防止策を固めるとともに、的確でスピーディーな情報発信に努めました。</p> <p>・施設利用率及び利用料については、コロナ禍以前の水準には及ばないものの前年度に比べ増加しました。特に利用料については、改修工事のため年度末3か月間の臨時休館期間があったにもかかわらず、昨年度に比べて増加しました。</p> <p>・利用者アンケートの集計結果では、例年どおり高い評価をいただくことができました。「非常に良い」、「良い」を合わせた良評価が、「施設担当職員の対応」及び「施設担当職員への対応」、「全体の印象」では100%の高評価を得ました。</p> <p>法人運営</p> <p>・公認会計士と指導契約を結び、2か月に1度程度帳簿検査と指導を受け適正な経理業務の執行に努めました。</p> <p>・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めました。</p> <p>・弁護士との顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めました。</p> <p>・理事会及び評議員会並びに全役員が参加対象の意見交換会を開催し、法人事業運営の方向性等の確認を行いました。</p> <p>・公益法人として、財団事務所及びホームページ等で財団情報の公開に努めました。</p>
<p>市評価</p> <p>令和4年度は、新たな指定管理期間における初年度の年でした。河内長野市文化振興財団は、長年の経験とノウハウを活かし、改修工事による3か月間の臨時休館の際には混乱なく対応し、円滑な施設運営を行っていました。また、市の文化振興計画を十分に理解し、市民や地域団体と連携・協働しながら、質の高い文化芸術に触れる鑑賞型事業や、市民の自主的な文化芸術活動を促進する参加型事業等を企画し、本市の文化振興のため数多くの事業を実施していました。このような点を大きく評価しています。</p> <p>文化振興事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、少しずつコロナ禍前の賑わいを取り戻し、事業数の目標である60事業を大きく超える事業を実施されたことを評価しています。特に、開館30周年という記念の年であり、「ラブリール・ホール開館30周年記念式典」を市民との協働により地域を巻き込んだ形で創意工夫を凝らし開催できたことは大変意義深いです。また、文化振興事業の実施にあたり、文化庁等の補助金や各種助成金を獲得し、内容充実にも努めていることも高く評価します。今後も、市民のニーズや本市の地域性をより把握し、さらに多くの市民に寄り添い、多様な市民が主役となれる感動の場・創造の場づくりに取り組んでいただきたい。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>施設の経年劣化による事故防止のため適切に修繕を行っており、指定管理者の費用負担による機器の更新なども実施しており、長期的な視点で施設を維持する姿勢を評価しています。照明や受変電設備等の大規模改修工事のため3か月間の臨時休館を行いましたが、利用者に混乱を与えることなく、管理者として適切に対応いただき、無事に工事を完了できました。また、臨時休館期間にあわせ、利用者が快適に過ごせるよう財団独自で修繕を行っていただいたことには大変感謝しています。</p> <p>法人運営</p> <p>公認会計士と指導契約、また、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めている点を評価します。</p>